

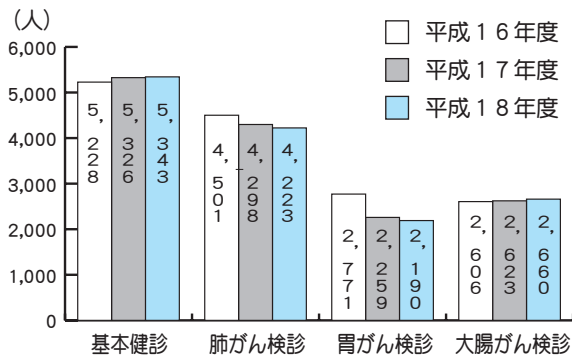
平成18年度 総合健診の結果を報告します

市民の皆さんが健康で明るく元気に生活できるように、昨年4月から6月の間に26会場で総合健診を実施しました。その結果がまとまりましたので報告します。

総合健診の受診状況

平成18年度の基本健診受診者は、5,343人で昨年より68人の増でした。がん検診については、大腸が

◎各検診の受診状況



基本健診の結果から

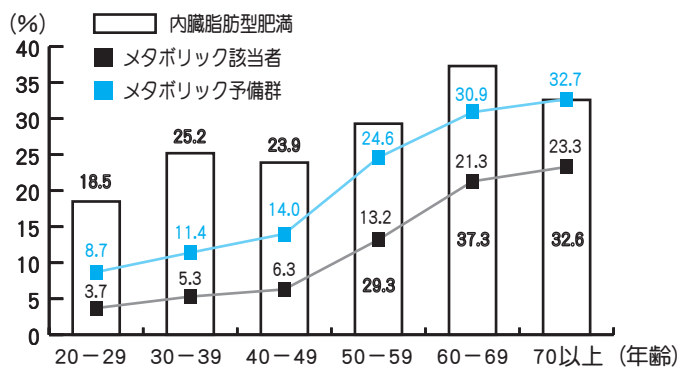
◎メタボリック症候群

基本健診は、従来の身体計測や血圧、血液検査、心電図、眼底検査などに加え、今年度より腹囲測定を実施しました。これは、おなか回りに脂肪がつく内臓脂肪型肥満に加えて、

んは昨年度比較で37人の増でしたが、胃がん・肺がん検診については、年々減少傾向にあります。基本健診、肺がん、胃がん、大腸がん検診を全て受けている方は、受診者全体の約3割でした。がんは早期発見が大切です。もっと多くの方ががん検診を受けてもらい、健康管理に役立てていただきたいと考えています。

高血糖、高血圧、高脂血症などの生活習慣病を2つ以上持っているメタボリック症候群の判定をするために実施したものです。BMIが25以上で、腹囲が男性85センチ以上、女性90センチ以上で、表①に示す項目が2つ以上該当する場合はメタボリック症候群と判定されます。メタボリック症候群に該当する方は、年代別にみると50歳を超えると急激に増え、50歳以降は3・5人に1人はメタボリック症候群という状態です。メタボリック症候群の診断基準は、生活習慣病である糖尿病や高血圧症の診断基準より低めの値になっていきます。それぞれの検査値が治療を必要とする値ではないため、つつい軽い軽視されがちですが、該当項目が多くなるほど動脈硬化を進行させる要因になります。

◎養父市におけるメタボリック症候群の割合



◎表①「メタボリック症候群の該当要件」

BMIが25以上で、腹囲が男性で85センチ、女性で90センチ以上で以下の2項目以上に該当

最高血圧	130mm / Hg 以上
最低血圧	85mm / Hg 以上
中性脂肪	150mg / dl 以上
HDL コレステロール	40mg / dl 以下
空腹時血糖値	110mg / dl 以上

※BMI = 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))